

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

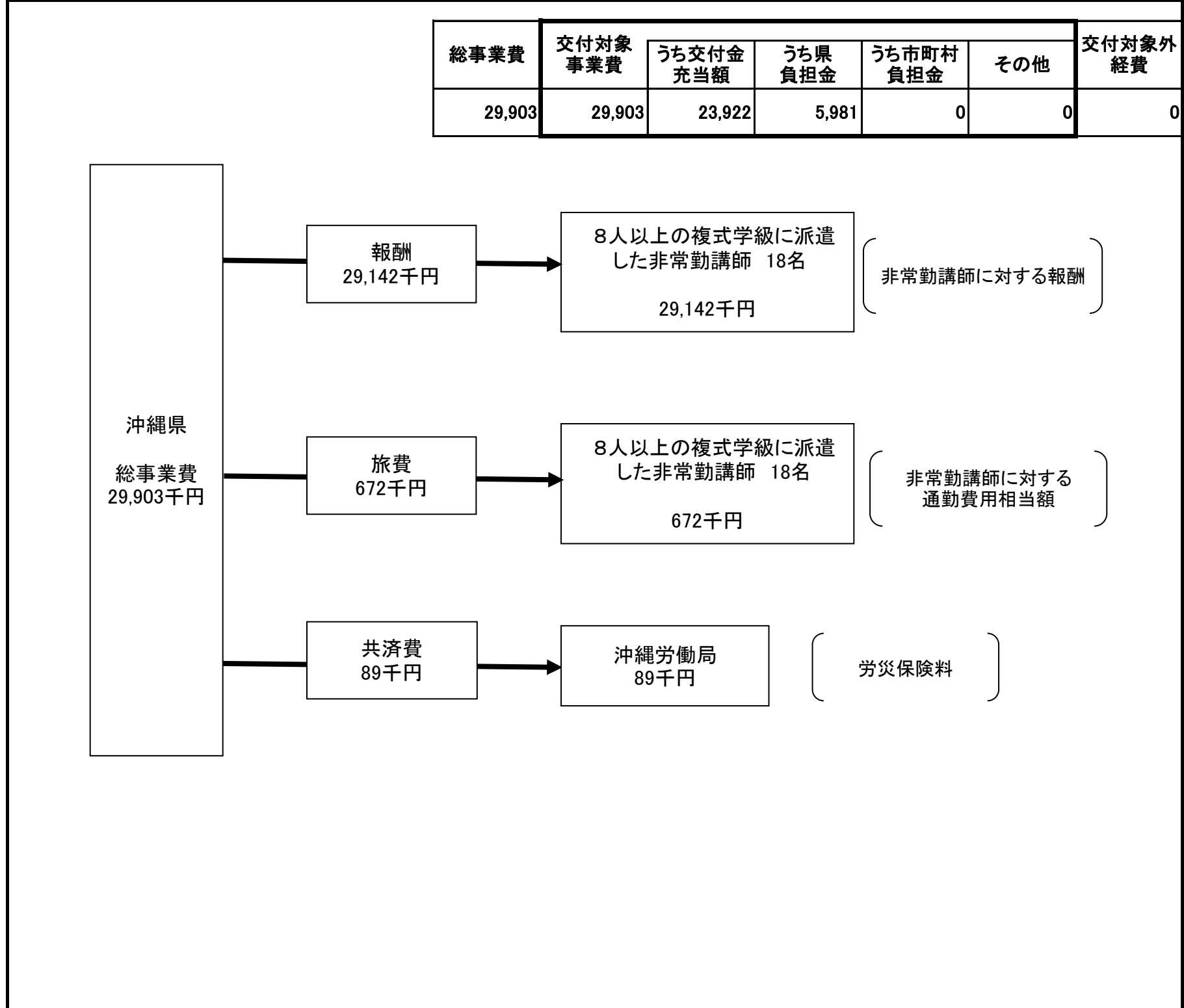
事業番号・事業名	210	複式学級教育環境改善事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア			
担当部課名	教育庁学校人事課	事業実施(予定)年度	H29 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
事業内容	個々の学力に応じたきめ細かな指導を実現し、児童の「確かな学力」の向上のため、複式学級を有する小学校へ学習支援員としての非常勤講師を派遣する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	68,632		58,193		45,015
		(b) 予算現額	40,573		58,193		33,186
		(c) 増減額(b-a)	▲ 28,059		0		▲ 11,829
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	40,573		58,193		33,186
	B. 執行済額		32,548		36,690		29,903
	うち交付金充当額		26,038		29,352		23,922
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		80.2%		63.0%		90.1%
予算の状況の説明		執行率は90.1%であり、不用が生じた主な理由は、派遣対象学級数の減及び未派遣が生じたことに伴うものである。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R2活動目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	非常勤講師の派遣		目標	42学級	33学級	33学級	29学級
			実績	40学級	27学級	27学級	24学級
進捗状況説明		・非常勤講師希望者がいなかったことによる未派遣学級が5となっており、派遣率は82.8%となっている。 ・非常勤講師の派遣によって、きめ細かな指導の実施や教材準備・研究の改善、児童の理解・集中力の向上等、学習環境の改善が図られている。					
成果目標(指標)及び達成状況	R2成果目標(指標)		基準値(H23年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	非常勤講師配置校における学力到達度調査平均正当率が、県平均値を超える割合(全学年、全教科) 100%		目標	100%	100%	100%	100%
			実績	100%	71.4%	100%	-
	【参考指標】 8名以上の児童で構成される複式学級のうち、非常勤講師が派遣されている学級の割合		目標	100%	100%	100%	100%
			実績	81.8%	81.8%	82.80%	-
達成状況説明		・学力到達度調査平均正答率の成果目標については、学力到達度調査を実施した全学年・全教科において県全体の平均正答率を上回ったため、100.0%となり達成となっている。 ※令和2年度学力到達度調査の学年・教科は、小5国語・算数、小6国語・算数。 ・非常勤講師が未派遣となった学級が5学級あったため、非常勤講師の確保が課題となっている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師の採用について、離島・へき地においては、教員免許保持者の絶対数が少なく、人材の確保が困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員免許保持者の絶対数が少ない離島・へき地においては、過去に学校で臨任や非常勤講師等での勤務経験者や、地域に住む退職教員の情報だけではなく、地域と連携を図り、教員免許を有している民間の学習塾等勤務者、転入してくる人材のうち教員免許保持者であるかといった情報を、積極的に収集していく必要がある。

今後の取り組み方針

- ・非常勤講師の採用について、より地域と連携を図り、転入して来る人材の情報を積極的に収集していくため、以下の取り組みを実施する。
 - ・事務所ホームページでの臨任等募集
 - ・学校からの情報提供
 - ・ハローワークへの求人募集
 - ・本務教員の配偶者(教員免許保持者)への依頼
 - ・教員候補者選考試験の応募票に任用に関する情報提供可否欄を設け情報収集
 - ・県内大学向けに臨任等募集の公告掲載依頼
 - ・非常勤講師等の募集開始時期を例年より早めに設定
 - ・会計年度任用職員制度の移行に伴う待遇面の改善等の周知

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	報酬の支払先である学習支援員は、すべて8人以上の複式学級を有する小学校に配置されており、支払先として妥当であり、かつ事業目的に即したものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	220	離島読書活動充実事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア			
担当部課名	教育庁生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	H27 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
事業内容	身近なところで読書ができる環境を構築し、読書環境の格差の改善を図るため、図書館未設置離島町村における移動図書館、一括貸出等に使用する図書を購入するとともに、読書活動の推進に係る講演会及び学校図書館等への訪問を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,390		18,647		13,951
		(b) 予算現額	13,390		18,647		13,951
		(c) 増減額(b-a)	0		0		0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	13,390		18,647		13,951
	B. 執行済額		12,776		17,857		13,332
	うち交付金充当額		10,220		14,285		10,666
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		95.4%		95.8%		95.6%
予算の状況の説明		執行率は毎年95%以上であり、概ね計画的に執行できている。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R2活動目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	館外協力用図書の購入3,821冊	目標	7,450冊	5,941冊	5,941冊	3,812冊	
		実績	7,617冊	5,941冊	5,957冊	3,854冊	
	図書館未設置離島町村11町村において移動図書館35回	目標	-	19回	35回	35回	
		実績	35回	19回	35回	22回	
	図書館未設置離島町村11町村への一括貸出140件	目標	-	82件	140件	140件	
		実績	147件	87件	119件	159件	
	読書活動推進に係る講演会3回	目標	-	3回	3回	3回	
		実績	2回	2回	3回	2回	
学校図書館等訪問15回	目標			24回	15回		
	実績			24回	16回		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入冊数、一括貸出件数及び学校図書館等の訪問については目標を達成した。 ・移動図書館及び講演会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止したことにより目標を達成出来なかった。 ・アンケートの分析や教育委員会など関係機関との連携により地域のニーズにあった活動を行うことができた。 						
成果目標(指標)及び達成状況	R2成果目標(指標)		基準値(H30年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	利用者が、身近なところで読書ができる環境が整っていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。		目標	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
			実績	85.7%	85.7%	94.8%	97.26%
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標である「地域住民が身近なところで読書ができる環境が整っていると感じるか」のアンケート結果については、実績が97.26%で達成となった。 ・読書サービス充実のため、積極的にアンケート調査を行い、地域のニーズの把握に努め、移動図書館実施の際に意見を反映することが出来た。 ・より多くの住民に参加してもらうため、令和2年度も引き続き沖縄美ら海水族館など様々な関係機関と連携した。 						

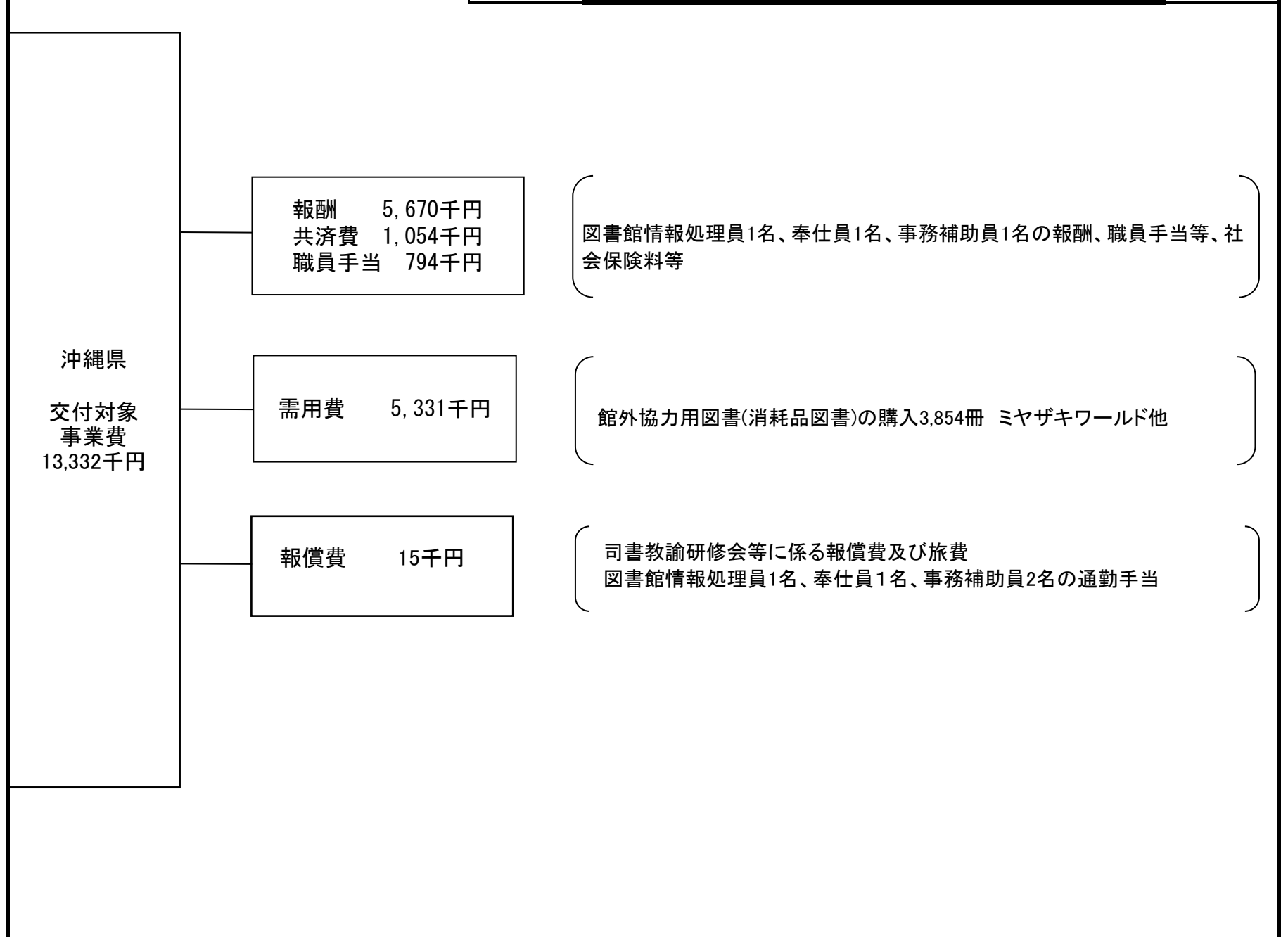
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある図書貸出サービスを実施するためには、図書が新しく魅力あるものであることが不可欠であり、そのような図書を揃えるためには、毎年度相当程度の予算を確保する必要がある。 移動図書館、一括貸出等の図書貸出サービスが周知されることで、各サービスへの需要が高まっている。 新型コロナウイルス感染症により移動図書館の実施回数が大幅に減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> 移動図書館について、大人向けのプログラム(ビジネス・健康医療・子育て等)について充実させ、さらに利用者層の拡大に努める必要がある。 地域の読書活動の拠点である学校図書館等支援については、適切な情報共有が行えるよう、早期から学校図書館等に相談内容を確認していく必要がある。 一括貸出や協力貸出は地域によって利用に多寡があるため、引き続きサービスの周知をする必要がある。

今後の取り組み方針

・これまでの子ども向けの取組に加え、利用者アンケートや地域の意見等を参考に大人向けのプログラム(健康・医療・子育て等)も積極的に実施し、利用者層の拡大を図る。
 ・学校図書館等への支援については、早期から学校図書館等に相談内容の確認を行い、適切な情報提供を行う。
 ・一括貸出や協力貸出については、従来の周知に加え、利用の少ない自治体へ重点的に働きかけを行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
13,332	13,332	10,666	2,666	0	0	0



資金の流し、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○図書購入は入札で行っており妥当と考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時に支出等に関する書類により確認したが適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	